

第24回奈良公園植栽計画検討委員会 議事要旨

日時：令和7年1月14日(火) 14時00分～16時00分
場所：奈良県経済倶楽部 5階 大会議室
出席者：委員長 尼崎博正
委員 井原縁、木南正美、田代佳子、増田昇
事務局 奈良県観光局 奈良公園室
関係部局 《地元関係者》 東大寺、奈良国立博物館
《奈良県》 観光局 奈良公園事務所
文化・教育・くらし創造部 文化財保存課
《奈良市》 都市計画課
文化財課

1. 若草山のナンキンハゼ対策について

●樹林地の管理方針について

- ・ギャップが発生した箇所での植生回復と種子供給を止める対策を優先しつつ、次いで駆除を行うという考え方が良いと思われる。
- ・まず、5年間対策を実行し、その成果を見たうえで、長期的な計画を立案することが望ましいのではないかと。

●これからの進め方について

- ・樹林地及び草地の全体としての対策と考え方を整理し、何を優先するのか選択せざるを得ないのではないかと。
- ・草地の対策は、刈払い作業時のアレルギー発症を考えると、文化財保護対策として必要な手順を踏んだうえで、根系の掘り取りをせざるを得ないのではないかと。
- ・若草山ナンキンハゼの課題や、それに対して努力していることを広く知ってもらう必要がある。

2. 茶山園地 植栽計画・実施計画の変更について

●表土流亡について

- ・自然に地被類が回復することを目指し、日照条件を改善する場所はその反応をみて対応すること。また、対策を行う場所の優劣などを戦略的に行った方がよい。

●植栽計画の記載範囲について

- ・経緯や分析までは土地所有に関わらず対象とすることが望ましい。

3. その他の報告事項

- ・猿沢池のシダレヤナギ対策は、植栽土壌の幅や踏圧、透水性の問題もあわせて考えていく必要がある。